

# こどもの城 ニュース

KODOMO NO SIRO NEWS

2001・9・15 No.120 発行/(こどもの城)広報部 ☎03-3797-5674  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1



## HATURATU はつらつ

今日は家族みんなで、キューバでいちばん美しいバラデーロ・ビーチに海水浴にやってきました。真っ白い砂浜や青い海で元気いっぱい遊んでいたら、おなかがあがぐー。車でピザ・レストランを訪れると、長い行列ができています。私と弟は50年代製のアメ車(我が家の家宝です)の中で、順番を待ちます。たぶん1時間はしんぼうしなくちゃならないけど、かわいい弟とおしゃべりしているからハッピーよ! (写真・文 平早 勉)



Goー! Goー! カッパラダイス



人形劇カーニバル「人形作りのワークショップ」



「和太鼓グループ」が飛び入り出演(面白楽器商店街)

【こどもの城】のビデオライブラリーには、35のブース(ビデオを見る小部屋)がありますが、夏休みになって数えてみたら、なんと36ブース。なん回数えても「36」——どうして!? すると「キヤー」という子どもたちの叫び声。見たことない「0番ブース」があるではありませんか。おそろおそろのぞいてみると、そこは真っ暗やみ。不気味な音が聞こえてきます。なかに入った子どもたちは……。



ビデオライブラリー

屋上ふしぎが丘でびしょぬれになって楽しんだ「Goー!Goー! カッパラダイス」、声優になってアニメーションの吹き替えにチャレンジした「キンダー・フィルム・フェスティバル」、新聞紙であやつり人形を作るワークショップ——夏休みのスペシャルプログラムもいっぱいありました。「面白楽器商店街」には、【こどもの城】の和太鼓グループの子どもたちも特別参加、元気いっぱい助太鼓を演奏しました。



【こどもの城】にも「すいか畑」?? (保育室ベランダ)



キンダー・フィルム・フェスティバル



夏休み造形教室「ミルルーム」

「手作り楽器」「映像・科学」「夏休み造形教室」など、時間をかけてじっくり取り組むワークショップに、たくさんの人が参加しました。「手作り楽器」初登場のトーキングドラム「タマ」では、セネガル(西アフリカ)のワガン・ンジャエローズさんの指導で、それぞれが作った楽器・タマで合奏。力強いリズム、たたき方で変化する音色——演奏する楽しさも体験しました。



手作り楽器のワークショップ「トーキングドラム「タマ」」



映像・科学ワークショップ「天体望遠鏡工作教室」

L.I.T. (Leader In Training) の高校生が企画・運営した、ごっこ遊び「キャッスルミステリアドベンチャー〜キャッスルガーディアンズ」が、8月25・26日の2日間にわたって行われました。参加した小学1〜3年生は、グループに分かれてキャッスルガーディアンになる訓練(ゲーム)を受け、【こどもの城】から「あそび」をうばおうとする「あかいざり団」の計画を未然にふせぎました。



キャッスルミステリアドベンチャー〜キャッスルガーディアンズ



オープンスタジオ「すみかと造形」

【こどもの城】を飛びだして、野外での活動(キャンプ)も行われました。小学校低学年対象の「チャレンジキャンプ」「ちびっこ冒険団」、高学年対象の「フェロシップキャンプ」、高学年・中学生対象の「スポーツキャンプ」「ジュニア・アウトドア・スクール2001」——参加した子どもたちは、夏空のもとで元気いっぱい遊び、たくさんの「思い出」を作っていました。



スポーツキャンプ



新・おにごっこ遊び



おもいっきりあそびあどは……

毎日、たくさん子どもたち(家族)でにぎわった【こどもの城】。子ども同士で遊ぶ姿、親子でいっしょに楽しむ姿——それぞれに【こどもの城】の夏を楽しんでいました。体育室、造形スタジオ、プレイホール、ビデオライブラリー、音楽ロビー、パソコンルーム、屋上——「あそび」に熱中する子どもたちの真剣な顔、楽しそうな顔、驚いた顔、笑った顔、元気な顔、いろいろな顔があふれていました。



面白楽器商店街



ジュニア・アウトドア・スクール

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE

FUJITSU

ブロードバンド対応で、  
ひとつ先のインターネットへ。



FMV  
DESKPOWER  
www.fmworld.net

FMV  
BIBLO  
www.fmworld.net



画面はハメコミ合成です。

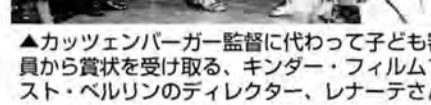
FAX 本広告の製品カタログをFAXにてお送りします。千葉:043-299-3642 大阪:06-6949-3270 資料番号/1141~1143, 1151~1153

「キンダー・フィルム・フェスティバル」

『となかいロビー』『ベルリンエンジェル』を子ども審査員がグランプリに選出

第9回「キンダー・フィルム・フェスティバル」はたくさんの観客を集め、8月5日に終了しました。子ども審査員が選ぶグランプリには、アニメーション部門は『となかいロビー』(リチャード・ゴルゾウスキー監督/イギリス)、ドラマ部門は『ベルリンエンジェル』(アンドレア・カ

ッツェンバーガー監督/ドイツ)が選ばれました。『となかいロビー』は、内気で軟弱なロビー君が、恋のライバル出現でモーレツにトレーニング。トナカイの競技会に出場して、見違えるようながんばりをみせる話。「最初は弱かったけど、(トレーニングで)強くなってきた。メダルは取れなかったけど、たぶんロビーの心のなかでは、メダルが取れたと思えました。一番よかったところは、いろいろな経験を積んで強くなったところ」というのが、子ども審査員の選考理由。



▲カッツェンバーガー監督に代わって子ども審査員から賞状を受け取る、キンダー・フィルムフェスティバルのディレクター、レナーテさん。

ドラマ部門のグランプリに選ばれた『ベルリンエンジェル』は、9歳の女の子ポリーヌが、

親子三代健康づくり 家族で川遊び楽しむ

親子三代健康づくり「川遊びハイキング〜川(夏)を感じよう〜」が8月5日に行われ、21家族56人が参加。秋川深谷の川原で水遊びやすいか割りを楽しみました。今回は、11月11日に「紅葉ハイキング〜権現山、弘法山ハイキングに挑戦!!」。対象は、小学1年生以上の子どもと家族(10家族)。参加費は大人1,000円、子ども500円(小田急線栗野駅までの交通費は自己負担)。10月11日正午から電話で先着順に受け付けします。お問い合わせ・お申し込みは体育事業部【☎03-3797-5660】まで。なお、来年2月には、雪遊びを楽しむ「白銀の世界で思いっきり遊ぼう!」(2泊3日)を予定しています。



家族のすばらしさを知れば男の関心が再婚したいと思っている母親に向くだろうと、いろいろな作戦を実行する話。「ストーリーもよかったし、主人公のポリーヌの行動もおもしろい。お母さんのことを考えるやさしい子だった。最後までハッピーエンドだし、小さい子でも見れそうな楽しい作品」と、ほとんどの子ども審査員が支持しました。

〜12時30分)。対象は3歳未満の子どもがいる家族(3歳以上の兄弟姉妹、祖父母の参加も可)、定員25家族(9月18日午前10時から電話で先着順に受け付け)。受講料3,000円(大人2人分の入館料・プログラム教材費含む)。

お申し込み・お問い合わせは、企画研修部「子育てママの悠遊タイム」係【☎03-3797-5675】へ。

声優による絵本の読み語り「おひさまおはなしコンサート」(11月3・4日)に親子ご招待

「おひさまおはなしコンサート〜絵本からとび出した動物たち〜」(11

して注目を集めています。

参加費は無料、18歳以上ならどなたでも参加できます。定員は150人。お問い合わせ・お申し込みは、企画研修部「公開講座」係へ。電話、ファックス、E-mailのいずれの方法でもお申し込みいただけます。ファックス、E-mailの場合は、住所・氏名・年齢・電話番号(連絡先)・託児希望の有無(未就学児、1,500円。申し込みは9月24日まで)を忘れずにご記入ください。

電話=03-3797-5675/ファックス=03-3797-5676/E-mail=kikaku@kodomonoshiro.or.jp

合は抽選)と「こどもの城」の入館料が必要です。

公演日時=11月3・4日(各日1時と3時30分の2回)／応募資格=3歳以上の子どもと親(必ず親子でお申し込みください。人数は自由)／応募方法=往復はがきに、①希望公演日時(第1・第2希望) ②観覧希望者全員の氏名(ふりがな)・年齢・続柄 ③合計人数 ④郵便番号・住所・電話番号(を記入のうえ、9月30日(当日消印有効)までにお申し込みください。返信用はがきの表に代表者住所(郵便番号)・氏名をご記入ください)／送料先=〒150-0001 渋谷区神宮前5-53-1 こどもの城企画研修部「おひさまおはなしコンサート」係。お問い合わせは、企画研修部【☎03-3797-5675】へ。

お母さんは「香り」を楽しみ、お父さんは親子遊び 10月28日に「子育てママの悠遊タイム〜香り豊かな生活でリラックス〜」

10月27日〜11月4日(10月29日の月曜日は休館)は、「こどもの城」開館記念の「ファミリーウィーク」。「子育てママの悠遊タイム」「おひさまおはなしコンサート」など家族(親子)で楽しめる遊びのプログラムをたくさん用意しています(詳細は次号)。

いつも子育てに忙しいお母さんにはゆったりとした時間を、お父さんには親子遊びを楽しんでもらう子育て支援プログラム「子育てママの悠遊タイム〜香り豊かな生活でリラックス〜」が10月28日に開かれます。お母さんたちは、ハーブなどの香りを楽しみ、アロマキャンドル作りに取り組みでリラックスしてもらい

ます。講師は、ハーブコーディネーターの塚本有子さん。その間、お父さんと子どもたちは親子遊び。日ごろから、父親の育児参加を積極的に手伝っている保育スタッフが、手軽にできる親子のふれあい遊びを紹介し

「子育てママの悠遊タイム」の開催日時は10月28日(午前10時30分

10月5日に公開講座「みんなで子育て」

テーマは 子どもと何を話す〜家族のコミュニケーション〜

家族とのふれあいのなかで、子育てのたいせつさを考えていこうと、「こどもの城」では公開講座「みんなで子育て」を開催しています。今年度第2回目は「子どもと何を話す?〜家族のコミュニケーション〜」をテーマに10月5日午前10時から「こどもの城」9階研修室で開かれます。ゲストは、パフォーマンス・アーティストの波瀾満子(はせ・みつこ)さん

とアニメーション作家の保田克史(ほうだ・かつし)さんの2人。波瀾満さんは、詩や言葉遊びをステージ構成したパフォーマンスで、日本語を声と肉体で表現するジャンルを確立。「やってきたアラマ先生」シリーズで知られています。保田さんは、NHKの「ロボットパルタ」ほか、テレビCMやタイトルをてがけるなど、若手のアニメーションの作家と

10月25日に「季節の離乳食〜秋コース」 “旬”の食材を使った離乳食などを紹介

5か月から1歳ぐらまでの赤ちゃんと保護者を対象とした「季節の離乳食〜秋コース」が、10月25日に「こどもの城」で開かれます。

はじめての離乳食作りは、なにかと心配です。いつから始めればよいのか? どんなものを、どのように調理して食べさせればよいのか? 大人の食事と別に作るのはいかに? など、頭を悩ませることが多いものです。小児保健部の管理栄養士が、離乳食の考え方や与え方などを、分かりやすく説明。季節の食材を使った離乳食メニュー、小分けして使えるように使い勝手を考えた保存法などを具体的に紹介します。

対象は、平成12年10月25日〜13年5月25日生まれたの赤ちゃん(未就学児)と保護者。時間は午後1時30分〜2時30分。参加費は2,000円。定員は

10月28日と11月11日に「おりがみにつよくなる講習会」

「おりがみカーニバル」が10月27日〜11月18日に「こどもの城」ギャラリーで開かれます。今年が8回目。日本折紙協会と共催。日本折紙協会所蔵の作品や各地の児童館の子どもたちが作った作品が展示されます。出品予定の児童館は、壁面作品が大崎町中央児童館(青森県)など9館、立体作品が清武町かのう児童館(宮崎県)など12館。それぞれ最後の仕上げに取り組みしています。

また、関連プログラムとして、児童厚生員や保育士など児童の健全育成に携わっている人や折り紙が好きな一般の人を対象に「おりがみにつよくなる講習会」を、10月28日と11月11日の2回開催します。28日は折り紙の基本・折り図の見方から部屋の装飾の手法、11日は子どもたちと折った折り紙で立体作品を作り上げる手法―それぞれ異なるテーマを取り上げます。指導にあたるのは、日本折紙協会講師。

定員は各回60人。時間は午後1時〜4時。受講料は3,500円。会場は「こどもの城」研修室。9月27日正午から電話で先着順に受け付けします。お問い合わせ・お申し込みは、企画研修部【☎03-3797-5675】まで。

者の対応について考えます。対象は、医師・保健婦(士)・保育士・養護教諭・看護婦・栄養士・児童館の職員・ベビーシッターなど子育てを援助する立場の専門職。

小児保健セミナーでは、3人の講師が小児精神科、教育、臨床心理の立場から、具体的な事例をまじえながら講演します。午前中は「子どもの心の発達観の視点から」(吉田弘道専修大学文学部教授=臨床心理士)、午後は「子どもが育つとは?」(小田豊文部科学省初等中等教育局視学官)、「落ち着かない子どもってなに?〜ADHD(注意欠陥/多動性障害)とその周辺〜」(木部則雄白百合女子大学助教授=小児精神科医)。

小児保健セミナー開催日時は、11月10日(午前10時〜午後5時)。定員は100人(先着順に受け付け中)。参加費8,000円。

お申し込み・お問い合わせは、小児保健部【☎03-3797-5667】へ。

●日韓合作舞台劇「東亜悲恋」〜ロミオとジュリエットより〜

▽10月13〜28日▽S席=8,500円、A席=7,500円▽出演=和木理恵▽出演=井ノ原快彦、シューほか

●Dance for Life 2001

▽10月30日▽S席=8,000円、A席=6,000円

●石川さゆり音楽会2001秋

▽11月2〜4日▽S席=10,500円、B席=8,400円

●ミュージカル「クリスマス・ボックス」

▽11月9日〜12月2日▽11,000円▽原作=リチャード・ポール・エバンス▽演出=栗山民也▽出演=東山紀之、黒木瞳、上條恒成、純名里沙ほか

青山円形劇場

●青山演劇フェスティバル LAST SPECIAL since 1987

「欲望という名の電車」▽9月7〜24日▽S席=5,000円※未就学児入場不可▽テネシー・ウィリアムズ

●10月のBスタジオの催し

■10月7・21日 手作り楽器のワークショップ「フィルムケースの笛」1時30分〜2時30分、3時30分〜4時30分

■10月8日 おはなしおんがくパンパカパン 1時30分〜2時30分、3時30分〜4時30分

■10月14日 こどもの城映画劇場「カナダのアニメーション〜ライツ・フロム・ザ・ハート」11時30分、1時30分、2時30分、3時30分

Entertainment Education Academy KIDS SCHOOL. Singing, Dancing, Playing in English. 対象年齢:3才〜6才. TEL 03-5465-0750

第15回「こどもの城保育セミナー」開く

「あるべき姿」にとらわれすぎている?

第15回こどもの城保育セミナー「子どもと生活・家庭と文化 PART II」これからの子育て家庭を支える支援が、全国から関係者など約100人が参加して8月4・5日に「こどもの城」で開かれました。NHKの連続テレビ小説「ちゅらさん」の脚本家・岡田恵和さんと山崎美貴子明治学院大学副学長の対談「現代の家族を支えるために」は、岡田さんの「家族」感を山崎副学長が聞くかたちで進行。いろいろな姿の「家族」あってもよいのではないかと、100点満点の「家族」というのはな

いのではないかなど、岡田さん自身の子育てや沖縄で取材した経験などを交えながら行われました。「沖縄で100人ぐらいうちでオーディションしたんですが、自己紹介のときほとんどが家族の話をするんです「家族」を難しく考えていない。「家族」は自然にあるんです。こちらでは、理想の姿を追って、それに合わせなければならぬと思っている。互いに干渉することを怖がっていたり、距離をとることのほうが美しい、かっこいい、現代的な思っている、バランスをとるのが下手になっている

のではないかと」岡田さん。

子育てや家族の「あるべき姿」にとらわれすぎているのではないかと、他者と誠実にかかわっていくことをとおしてそれぞれが大切な存在になっていくのではないかなどが話されました。「いろいろな人の存在を認め、いろいろな人から学び、いろいろな人と支え合っていく生活が大切。子育てに正解はない」と山崎副学長は対談を締めくくりました。

「子どもをめぐるさまざまなトピックス」では、吉田正幸「遊育」編集長ほか4人の講師が問題を提起。2日目は、「より専門性をもち職員を育てるには」(助言者=吉村眞理子元東雲短期大学教授)、「子育て支援の

4つの立場から問題を提起

「子どもをめぐるさまざまなトピックス」の発言概要は以下のとおりです。吉田正幸「遊育」編集長は行政の動きを踏まえながら「幼稚園の子育て支援の実態」の概要を解説。保育(幼児教育)機能の一般化と拡大という形―預かり保育、保育時間の延長など―

で、保育所・幼稚園の改革が進んでいる。子育て支援は、親を支援することをおして最終的には子どもを支援すること。生活・文化の拠点の一つとして、親の「学び」をお手伝いできる施設であってほしい、と保育所・幼稚園への期待を述べました。メディア評論家作家(人形アニメーション・子どもの冒険小説)でもある高橋克雄さんは、映像と印刷のメディアを比較しながら「子どもの文化とメディア」について問題提起。コンピュータを核に増殖し、ダイレクトに入り込んでくる映像メディアに警鐘を鳴らすと同時に、活字をイメージに転換する知的作業が要求される印刷メディアは、子どもの想像力を磨き感性を豊かにする。子どもたちに「思索」を取り返すことが重要である。元小学校教諭として、統合教育や自閉症指導の経験が豊富で、現在はフリ